

一般部門グランプリ

「Final Anchors」

八島 游舷（やしま・ゆうげん）氏

サンフランシスコの交差点で2台の車の衝突まで0.5秒。人間の反応時間ではもはや間に合わない。車載AIたちによる「最後の審判」が始まる。すなわちどちらの車両が強制停止アンカーを打ち込み自己破壊するか。確実に一方を生かすが、一方を殺す、通称ファイナル・アンカー。2台のAIは、自らの搭乗者を救うため、またより大きな目的のために人間を差し置いて議論する。

ジュニア部門グランプリ

「シズク」

天波（あまな）氏

教育システムの帰り道、シズクは彼の風月からある決心を聞く。それは彼が妊娠と出産を引き受ける体を選ぶというもの。この時代、生殖は様々な事情からルーレット形式を取っており、男女どちらに割り当てられるかわからなかった。加えて別の選択肢も出てきた自分たちは、どうしたいのか。なぜそんな流れになったのかを振り返りながらシズクも自分なりの答えを出す。

学生部門グランプリ

「冷蔵庫狩り」

松尾 泰志（まつお・たいし）氏

すべての家具や家電が Things という名のもとに統合され、AI により制御されるようになった時代。コンピューターウイルスの蔓延で Things が暴走し、世界が混乱に陥ってから 3 年後のある日、タロウは「冷蔵庫を追って旅をしている」という女性・ドロシーに出会う。冷蔵庫に隠されたワクチンを手に入れるため、2 人は危険な旅を続けたが、タロウはワクチンが散布されるより先に命を落とした。

一般部門優秀賞

J B C C ホールディングス賞

「Q.E.D. の後で」

小竹田 夏（しのだ・なつ）氏

アマダホールディングス賞

「帰る旅」

積木 一棋（つみき・かずき）氏

旭化成ホームズ賞

「ひとめぼれ」

加瀬 信行（かせ・のぶゆき）氏

東京エレクトロン賞

「終末のハスラー」

弓永 端子（ゆみなが・たんし）氏

日本精工賞

「20X3 年のため息」

白木 レン（しろき・れん）氏

スリーポンド賞

「蓮食い人」

八島 游航（やしま・ゆうげん）氏

ジュニア部門

準グランプリ

「進化」

青木 志央理（あおき・しおり）氏

優秀賞

「メニューと料金」

松本 ひなた（まつもと・ひなた）氏

優秀賞

「百年後のぼくの街」

島田 織彰（しまだ・あやあき）氏

優秀賞

「リバーズ」

出口 龍（でぐち・りゅう）氏

学生部門

準グランプリ

「道路標識のあいつ」

鈴田 直也（すずた・なおや）氏

優秀賞

「『件名：報告コード 2H1M1T120470930 添付ファイルあり』」

廣江 聡太郎（ひろえ・そうたろう）氏